

# みあさづくり

## 祝 源流美麻太鼓三十周年

私共、源流美麻太鼓は平成元年、旧美麻村村政百周年を記念して創立され、本年度三十周年を迎える事ができました。これもひとえに、地域の皆様の温かいご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

12月15日には記念演奏会を大町市文化会館にて行い、300人ものお客様にお越しいただきました。その後別会場にて多数のご来賓の皆様にご列席いただき記念式典を盛大に挙行いたしました。源流からの流れのように、30年の間には急流や濁流、せき止められそうな時もありました。しかし、その都度地域の皆様や太鼓仲間にご助けいただきながら、なんとか流れを止めず続けてくる事ができました。

大人の打ち手が始めた会も、今では子供達が頑張って伝統を受け継いでくれています。会長も四代目、打つ曲も変わり創立当初とはだいぶ様変わりしましたが、先輩方から受け継いだ地域の活性化の為に太鼓で貢献する気持ちは一切変わっておりません。



少子化の影響で存続の危機を感じる面もありますが、これからも流れを止める事なく40周年、50周年を目指して邁進してまいりたいと思います。地域の皆様、引き続きご支援のほどよろしくお願い致します。(会長 保科充志)



facebook



ホームページ美麻Wiki

## 地域の話題



## 美麻地区文化祭開催

今年の文化祭は10月13・14日の2日間ほかほかランド美遊を会場に行われました。

例年よりも1週間早まり準備期間が短くて参加された皆さんに大変ご苦労を頂きました。

幸いにも当日は絶好の好天に恵まれ入場者は2日間で400名を超え出店では売り切品が出るなど盛況でした。役員の皆さんが前日から準備した会場には、保育園児からお年寄りまで地域内外から600点を超える作品で会場は一杯となりました。

今年も「ふるさと美麻会」の皆さんの作品が寄せられ、奥様やお孫さんなど家族で故郷への気持ちがかもった作品を展示いただきました。

13日午後には会場にもお越しになり作品をご覧になって地区の人との交流も致しました。

翌、14日の開会式とステージ発表は、みあさ保育園児

の可愛いお遊戯や先生の手品に会場は緊張感が和んだ感じでした。源流美麻太鼓や八坂学園の太鼓や踊りも見事でした。

続いて美麻小中学校7・8・9年生の研究発表が行われ、地域を見て学んだ内容は時間の経つのも忘れるほど聞き入った発表でした生徒達も良い思い出と成る事でしょう。

感謝の手紙に応募された方からは「自分も文化祭に参加できて嬉しかった」とお言葉を頂きました。来年はもっと多くの皆さんが参加しやすいように題目を変えて行う予定です。

改めて文化祭に携わった関係者の皆様、役員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

美麻公民館 宮沢雄一

## 美麻地区子育てセミナー開催

文化祭会場で13日午後から行われた子育てセミナー「親子工作教室」には、26人の参加を頂き開催しました。今年の工作は大塩在住で「工房ぐるり」の相澤和樹・佳子さんを講師にお願いして、木のバターナイフ、ポタンのどちらか好きな方を選んで挑戦しました。小林京子会長が親子で物づくりをする機会は少ないので今日は大いに楽しんでくださいますの挨拶があり早速皆で挑戦しました。

「うーん、楽しいがここが難しい！」と言いながら黙々と木を削る親の真剣な姿は子供たちにどの様に映ったのかな？

お父さんお母さんの良い姿を見せることができました。



最後に地区民生児童委員の皆さんが作っていただいた焼きおにぎりに子供たちが仕込んだ味噌を乗せて美味しくいただきました。

昔懐かしいおにぎりの味と、楽しくて子供そっちのけで行った工作は好評で再度挑戦したいと好評のセミナーとなりました。



## 地域の話



## 地域の伝統行事を伝承

12月5日旧中村家住宅に於いて高齢者学級が開かれ美麻小中学校5年生11名に地域の伝統行事を伝承しました。

早朝に火入れされた釜土や囲炉裏からは真っ赤な炎と煙、蒸籠（せいろう）から吹き上がる蒸気に大きな室内も向こうが見渡せないほどです。

マスクに帽子と重装備の子供達の到着を待ち構えたように餅つきとわら細工の班に分かれて手ほどきを行いました。子供たちは重い杵と餅の粘りに悪戦苦闘、大人の補助を得て「ズドン」と上手に音を鳴らすと拍手が上がるなど、会場はあっという間に一体感が生まれました。「餅つきなんてやったのは何年め—ずらか、昔は12月にやどこの家でも餅つきの音がしたもんせ！」

しめ縄を作ったことは初めての生徒さんにしては上手く出来たようです、

「5年生は飲み込みが早くて、教えるのが楽しかった」（SBCテレビニュースのインタビューから）

お餅は自分達が授業で作ったもち米15kgを使い、黄な粉、あんこ、黒ごまで美味しく味付けして味噌汁や漬物と頂きました。餅をペロリ4個と、汁を3杯も食べたのには皆ビックリです。

最後は民話のかかるた拾い大会です、「もんぺの会」丸山令江子さんの絶妙な読み手に、お手つきあり笑いありで予定時間はアットという間に来てしまいました。

静寂の戻った中村家、囲炉裏の薪も燃え落ちていました。昨年の寒さは嘘のように暖かな天候に恵まれ今回は全国場版のニュースで流れるなど来年も良い年を迎えられそうですね。今年一年ありがとうございました。 宮沢雄一

## 『みあさ保育園発表会』

12月1日、保育園の遊戯室に園児の元気いっばいの声が響き渡りました。

カナヘビが成長していく様子の手作りペープサート、歌に合奏、子供たちの真剣に取り組む姿を見て親はうるうるしてしまいました。

未満児クラスの発表もとても可愛くてほっこりさせられました。

幼児クラスの劇は『おむすびころりん』人数が少ないみあさ保育園は一人で何役もこなさなければなりません。親としては出番がたくさんで嬉しいですが、子供たちは覚えることがいっぱい大変そう。でもみんなしっかりセリフも覚え、立派にこなしていました。

家では見られない姿を見せてくれる発表会は毎年楽しみでなりません。

今年は保護者の出し物は、源流太鼓の方に協力

してもらい太鼓を叩かせていただきました。

とても貴重な体験ができ楽しかったです。ありがとうございました。 保護者塚田みのり



## ふるさと美麻会総会に出席



平成元年に村政施行100周年記念事業にあわせて設立されたふるさと美麻会が30周年を迎えました。その節目となる定期総会が11月10日に東京上野「水月ホテル鷗外荘」で開催され、牛越市長を代表に美麻地区からも7名が参加しました。美麻会の皆さんは、郷土意識の

高揚を図りつつ、ふるさと美麻との絆を深めるとともに、わがまち散策会や隔年でのふるさと・紅葉文化祭ツアー、秋の定時総会及び懇親会などを通じて会員相互の親睦を深めていただきました。また、近年では会員の皆さんの芸術作品を美麻地区文化祭に出品していただいたり、神代断層地震の折に震災義援金を送っていただいたり、ふるさと納税にもご協力いただいております。発足時に200名ほどいらっしゃった会員も高齢化とともに減少して、会員の確保が課題となっているとこのことです。関東方面にお住いの美麻地区出身者の方がご家族や、ご親戚にいらっしゃいましたら、ぜひ美麻地域づくり会議事務局（美麻支所総務係）までお知らせください。



今年は、美麻小中学校の生徒が商品開発した花豆のパン「美麻のミ」をご賞味いただきました。

## ぽかぽかランドで「北投石の湯」試験営業中！



特別天然記念物の「北投石」。そのお湯は全国から湯治客を引き寄せる神秘的湯。歴史ある湯治場で有名な秋田県玉川温泉は、国内で唯一の北投石産出地。その貴重な温泉体験を今なら、ぽかぽかランドで体験できます。原石を大量に沈めたお湯は、普通のお湯と手先で比べてもその違いが分かるほど。

「今までになくよく温まる」「湯冷めせず外に出てポカポカ」「汗が止まらない」など湯上り後に効果を実感！という声が多数。自然治癒力を高めると言われる北投石の効能は、

テレビや本で数々紹介されており、館内でも特設テレビで放映中です。

日々の温浴で、健康の秘訣を手に入れるなら一石二鳥の生活習慣と言えます。

**試験営業期間は  
平成30年11月1日から約3か月。  
是非お早目のご来館を！**



### コミュニティ・カレンダーの 無料入浴券もご活用ください

春に各戸配布させていただいたコミュニティ・カレンダーには、ぽかぽかランド美麻さんからご提供いただいた無料入浴券がついています。ご活用ください。

## 地域の話題



地域づくり会議の広報部会による視察報告会を10月19・20日に行ないました。

今回は、人口減少社会への対応に地域でできることをテーマに

- ①岡山県小田郡矢掛町の「矢掛小中高子供連合」の幅広い子供たちの居場所づくりや活動
  - ②広島県三次市青河自治振興会の自治による送迎サービスなどの困り事対策や住民による定住促進のための住宅住宅供給会社設立について
  - ③広島県尾道市「ゲストハウス あなごのねどこ」の空家の再生利用について
- 3か所を訪問させていただきました。

当初、7月に実施の予定でしたが、西日本豪雨災害の影響により10月に日程変更して、8名が参加しての実施となりました。

### ①矢掛小中高子ども連合（岡山県小田郡矢掛町）

県立矢掛高等学校の地域と連携した「矢掛学」についてお話を聞きました。地域と高校生の連携は、美麻市民科の高校生版といった感じのプログラムで高校の授業として実施されていました。小中高生が縦割りで行う課外活動「YKG60」の活動と子どもたちの居場所作りや活動をサポートするみなさんのお話しは、地域の大人が子供を中心に活動をサポートしている状況を伺いました。途中西日本豪雨の被災場所を通りそのすごさに心が痛みました。早い復興を祈りたいです。



### ②有限会社ブルーリバー（広島県三次市青河町）

この会社は、地域の宝である小学校を継続させ、人口減少に歯止めをかけることを目的に、住民9人が出資して作った住宅供給会社です。

今では、人口430人の青河町で14家族63人に住宅を提供し、会社設立の目的を順調に達成しているそうです。他にも、運営費を1万円払って、ボランティアで店番をする朝市や、町民の暮らしをサポートするため、町ぐるみで運行費用を負担する無償バスの運行など様々なお話を伺い、現場も見学させていただきました。

これらの活動は、町の皆さんが掲げる「8つの地域ビジョン」の実現に必要な手段でしかなく、何より、行政に頼らず、住民自らの創意工夫と合意形成により実現されていることに驚かされました。

会長さんのお話では、経営の安定のため太陽光発電所を設置し、売電した利益で賃貸住宅の家賃を値下げしたそうです（しかも2回）。

ブルーリバーにとっての経営の安定は、会社経営ではなく、地域経営の安定を指しているのだと思いました。



青河自治振興会の活動は、2018年度過疎地域自立活性化優良事例表彰で総務大臣表彰を受賞されました。おめでとうございます。



## 秋のPTA作業(学校支援隊)

美麻学校支援隊では、10月27日の秋のPTA作業に合わせて冬囲いや植樹した木の剪定を行いました。

今年は作業するだけでなく、せっかくだからプロに選定を学ぼうと企画しました。あいにく小雨の降る中での作業になり、参加者が少なかったですが、ロープの結び方や綺麗に選定する技術など真剣に皆さん学んでいました。来春もやりたいという声があり、来春にも講習会やりながらの作業にしたいと思います。



## 「夢の時間」の発表会がありました

美麻小中学校の総合学習夢の時間の発表会が12月8日にありました。子どもたちの夢や興味のあること、やりたいことがなんでもできる学習の時間8時間で学んだことを発表します。昨年から引き続きやっている子どももいます。カメムシについて、化粧について、かんざしやシュシュを作る、机を作る、パンを作るなど、さまざまな発表を、9年生がリーダーになって行い、下級生がフォローとなって進みました。そのやりとりがなかなか良いですね。今回は3年生以上の子もたちが聞き手で、信州大学の大学院の皆さんや学校運営協議会の皆さん、保護者の皆さんも見学をして、大人子どもが混じっ

て質問もしました。研究内容も多彩で面白く、質問に答える子どもたちもなかなか上手くて、素晴らしい時間でした。



## 山村留学の収穫祭(11/18)

(公財)育てる会 八坂美麻学園の収穫祭に行ってきました。親元を離れ、自然の中で共同生活を送る山村留学生の個人体験発表。

そして学園生全員で創り上げた、太鼓を交えた創作劇。こんな便利な世の中に、こんなにも素朴で逞しく育つ子供達がいるのかと心を打たれました。

## ボランティア研修会開催

学校支援ボランティアの話

美麻小中学校学校支援隊では9月8日ボランティア研修会を実施しました。今年は北陸地域づくり協会の助成を受け6月にも実施し、今回が2回目。講師として岡山大学地域総合センター前田芳男教授をお迎えして、総合学習について「地域人（ちいきびと）でないと教えられることがある」をテーマにボランティアが学習に関わるうえで必要な視点などについて学びました。



## 美麻ベーカリーさんの”みあさライフ”がテレビ番組で放送されます。



放送日 平成31年1月5日（土）  
夕方6時から（長野朝日放送）

美麻市民科の「花豆株式会社」の活動に協力いただいている美麻ベーカリーさん（大塩）の美麻地区での生活の様子が、テレビ朝日「人生の楽園」という番組で放送されます。

この番組は、全国の、主に50代以上の夫婦が、UターンやIターンをして、店を経営したり農業を営んだり「新しい生き方」、つまり第二の人生を歩む姿を、周囲の人々との交流を交えて描く。単純なスローライフやリタイア生活ではなく、新しいビジネスや町おこしといったポジティブな仕事に取り組む人々を中心に上げている番組だそうです。

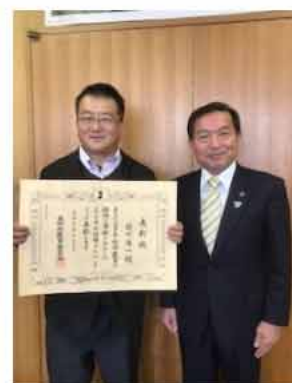
美麻小中学校の様子も取材されていますので、ぜひご覧ください。

## 地域づくり会議前川会長 長野県教育功労者表彰を受賞

この度、地域づくり会議前川浩一会長は、長野県教育功労者として社会教育部門での表彰を受けました。表彰式は11月16日長野県庁で行われ、受賞者52名とともに原山隆一教育長より賞状が授与され、12月12日には牛越大町市長への報告を行いました。20年以上にわたるメンドシーノ国際交流の支援や、総合学習などの授業支

援活動、美麻小中学校での学校支援コーディネーターの活動が評価されての受賞だそうです。「大勢の地域の皆さんの力によって続けてこれた活動ばかりで、これは地域の皆さんが受賞されたことだと思っています。」

（前川会長談）



## 花豆栽培に協力を

今年5月中旬に約300ポットに種を蒔き、美麻各地区の13軒で栽培をして10月上旬までに収穫が終了しました。

集まった花豆は約48kgで少なめの収量でした。作柄については春先は暖かく生育も順調で豊作を期待しましたが、夏場の高温により受粉が悪く粒も育たなく小さいサヤでした。その後9月に入ってから雨の日が多くサヤが黒くなり、中の花豆には白いカビが出ていました、粒が小さくカビによる不良品が多いことが収穫量に影響したと思います。改めて自然相手は大変なことだと感じました。

来年の4月には「信州花フェスタ」が松本で開催され、美麻地区へも出店の依頼が来ておりますし、美麻地区の特産品に育てたいと取り組んでいますので是非、栽培にご協力をお願いします。



興味のある方は、3月末位をめどに地域づくり会議事務局までご連絡をお願いします。

市美麻支所内 tel 29-2311

## 年末の交通安全運動 実施中です！



大町地区交通安全協会では、12月1日～12月31日まで「思いやり、乗せて信濃字路、咲く笑顔」のスローガンで年末交通安全運動を実施しております。

美麻地区でも夕暮れ時の早めの点灯実施や飲酒運転の根絶により交通事故防止に努めましょう。

## 雪道を安全に

二重自治会では「おひさまゆうせつプロジェクト」として、大町市の助成金を得て市道蟻坂線で日陰を作ったり、雪による倒木の恐れのある沿線の木を伐採作業を実施しています。

10月までに3回目の作業を行い、100本ほどを伐採し、かなり日当たりも良くなりました。冬季の道路凍結の緩和に役立てばと考えています。来年3月頃には、通行されている方を対象にアンケートを行う予定ですので、ご協力をお願いします。（二重自治会）



■ 編集・発行

美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info